
2024.11.1 令和6年度まちづくり専門家交流会

「お宮町」まちづくり協議会の 活動支援に関する報告

都市デザインワークス / 青葉区地域力推進担当

- 1 「お宮町」の紹介、まちづくりの目的・経緯など
 - 2 派遣期間の活動と専門家の関わり（役割）について
 - 3 現在のまちづくり協議会の活動の紹介
 - 4 これまでを振り返って 所感（口頭にて）
-

はじめに・・・「お宮町」ってこんなまちです！

春



れいさい
仙台東照宮 春の例祭
東六小の桜と音楽を愛でる会など

夏



仙台七夕まつり、東六夏祭り
まんとうかい
万燈会（3年に1回）など

秋



お宮町秋まつり

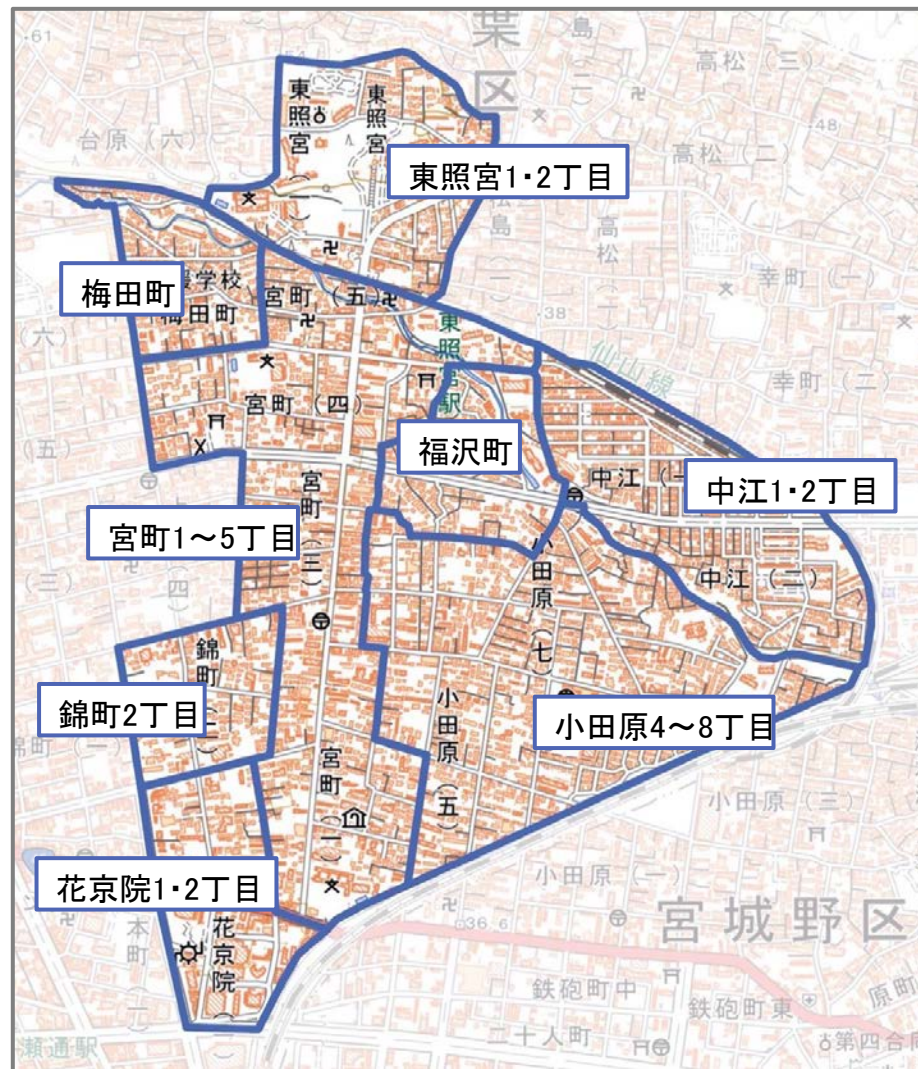
冬



どんと祭、節分祭

落ち着いた歴史的雰囲気があり、住民同志の交流も盛ん、利便性も良い

はじめに・・・「お宮町」ってこんなまちです！



落ち着いた歴史的雰囲気があり、住民同志の交流も盛ん、利便性も良い

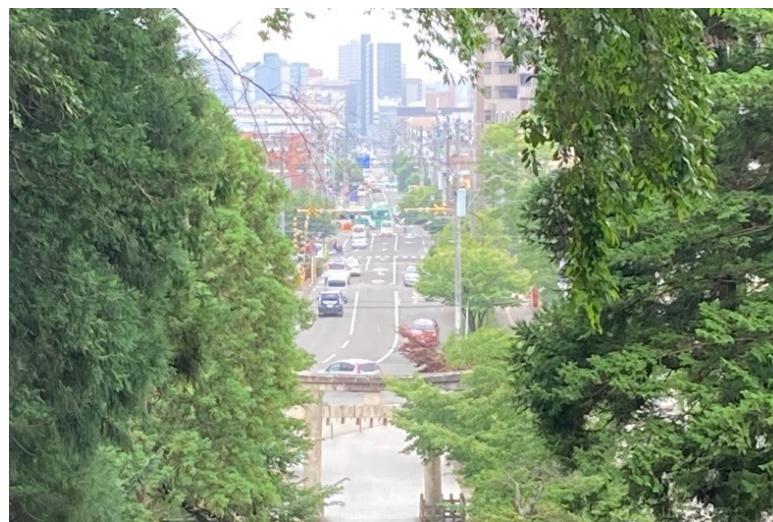
「お宮町」まちづくり協議会の目的

《目的》（発足当時・2021年資料より）

- ・ 門前町にふさわしい活気に満ち、安全・安心な宮町（宮町通り）の実現に向けて、その歴史的・文化的価値を改めて確認・共有しながら、地域に必要な取り組みや「無電柱化」を含めた宮町・宮町通りのあり方などについて、専門家の知見を取り入れながら、地域主導で明らかにする。



仙台東照宮



仙台東照宮から眺めた宮町通り

「お宮町」まちづくり協議会の動き

2021年度 準備会を経て協議会が設立

←アドバイザー派遣

2022年度 まちづくり計画の「骨子」作成
その検討過程で「分科会」を設立

←アドバイザー派遣

2023年度 まちづくり計画の策定

- ・分科会活動も継続
- ・住民アンケートも実施

←コンサルタント派遣

2024年度 少しずつ活動を実践中

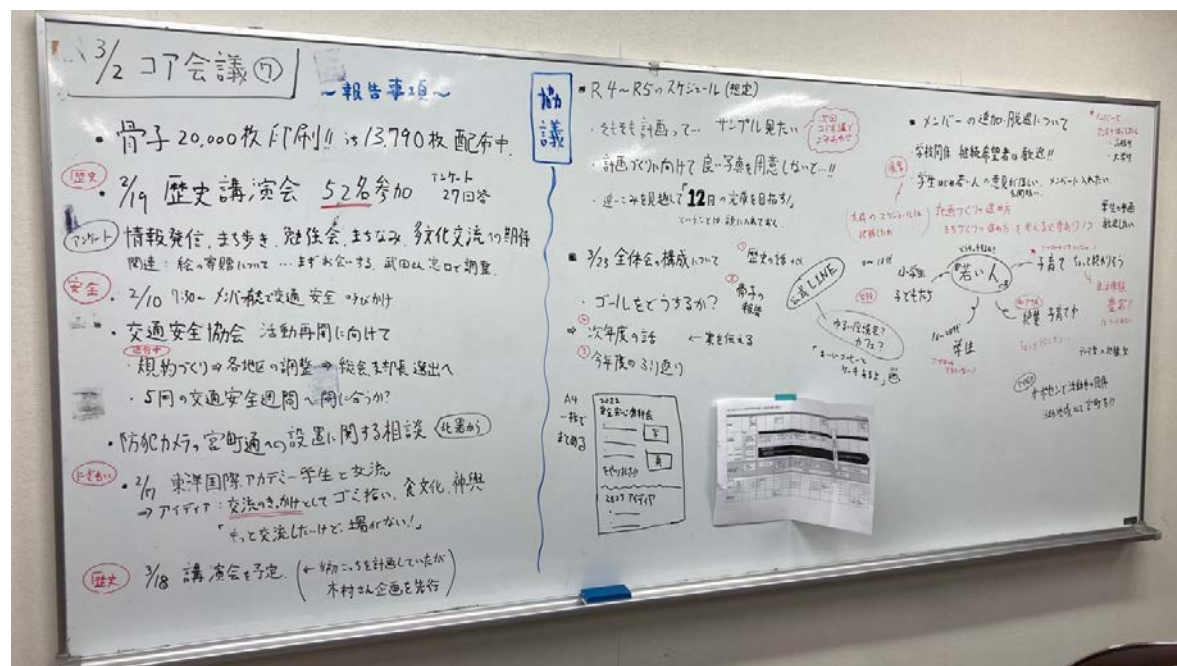
- ・まち歩きプロジェクト（まちプロ）
区のまち活助成を得て実施中
- ・こまもりハロウィン

←計画策定後の
フォロー（年2回）

(10数名 + 青葉区)



都市DWは資料提案、
記録、進行補助など



ワークショップや会議を重ねて、悩みや思いを引き出し、まとめる

2021年7月

「お宮町」まちづくり協議会が設立

「お宮町ってどんなまち？」を
テーマにワークショップを企画

地域の魅力・好きなところ
課題・気になるところを出し合った



**歴史を伝え
未来をつくるお宮町**
～多様な住民の知恵による
参画型のまちづくりへ～

「お宮町」まちづくり協議会 / まちづくり計画

「お宮町」まちづくり協議会は、地域住民が自らまちづくりに
取り組む核として 2021 年 7 月に結成されました。住民同士の
顔が見え、交流が促進され、暮らしやすく活性化した街。
宮町をそんな街にすべく、「安全・安心」「歴史・伝統」「交流・
賑わい」の 3 つのテーマを掲げ、活動を進めています。
今回、協議会の中間報告をまとめましたのでご一読
いただき、これからのお宮町のまちづくりに参画
いただければ幸いです。

発行：「お宮町」まちづくり協議会 協力 青葉区まちづくり推進課（地域力推進担当）、
都市デザインワークス



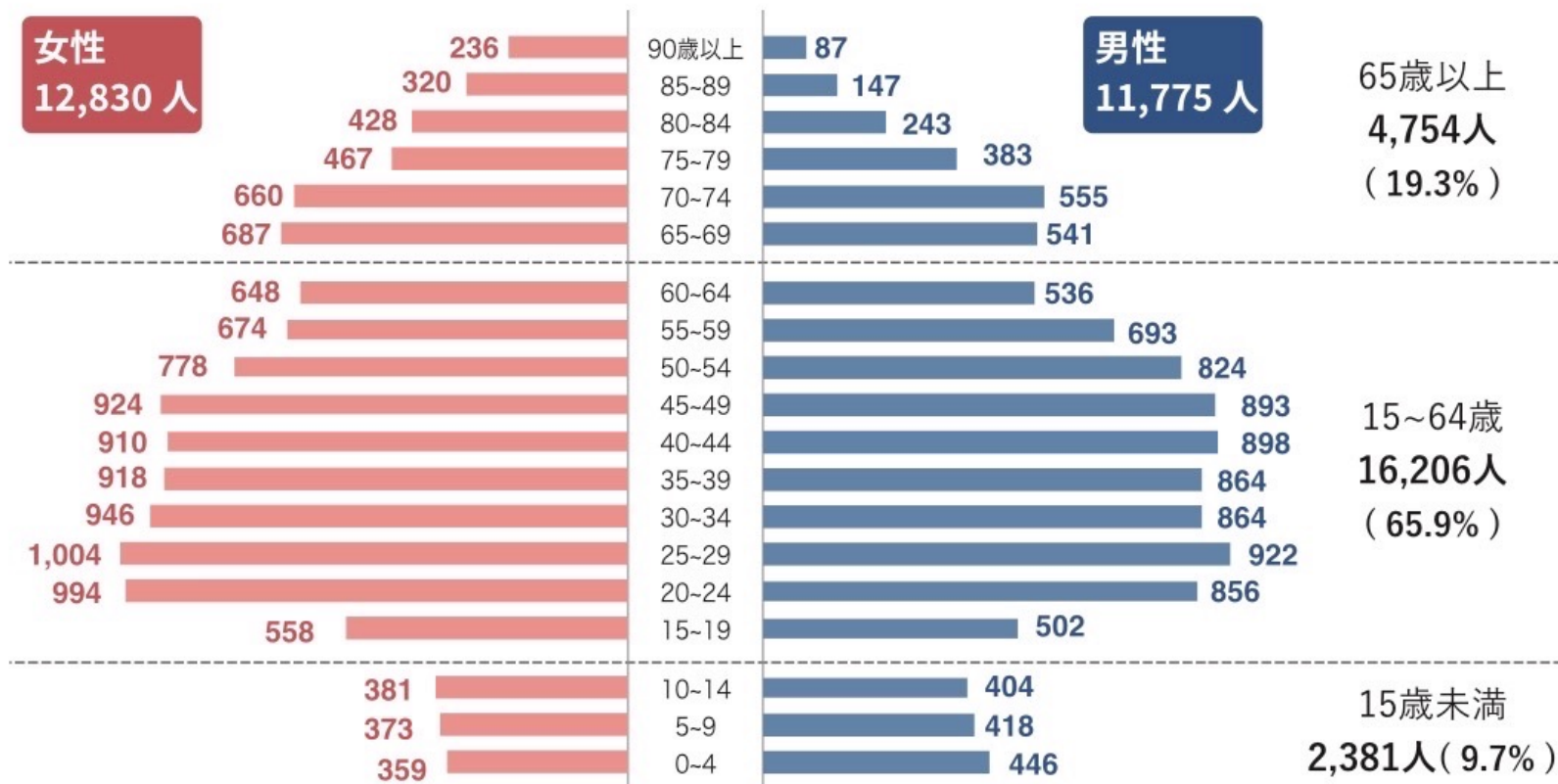
2023年2月

まちづくり計画の骨子が完成

ワークショップや会議を重ねて、悩みや思いを引き出し、まとめる

基礎データを整理して示しつつ、まちづくりの課題・テーマなどを検討

2020 年の人口：24,605 人（国勢調査）



*データの範囲：東照宮、梅田町、福沢町、中江、宮町、小田原 4～8 丁目、花京院、錦町 2 丁目

ワークショップや会議を重ねて、悩みや思いを引き出し、まとめる

お宮町まちづくり計画 骨子 ～コンセプト『歴史を伝え 未来をつくる お宮町』～

テーマ①安全・安心

「お宮町」の魅力・強み

- ①子育てしやすい地域
 - ・子どもを見守る地域の人が多い
 - ・教育の環境が良い
 - ・施設・公園などがある
- ②落ち着いた暮らしやすい地域
 - ・静かな住宅地、文教地域
 - ・都心に近く、交通の利便性もよい
- ③地域の連携がある
 - ・PTAで地域の安全マップ等を作り、危険箇所の周知をしている

「お宮町」の課題・弱み

- ①歩行者・自転車の安全の確保が必要
 - ・危険なブロック塀の周知が足りない
 - ・自転車専用通行帯が危険。自転車の安全の確保ができていない。
- ②交通ルールの周知徹底が足りない
 - ・逆走、一時停止無視等の自転車多数
- ③もしもの時の安心の確保
 - ・避難所のあり方の再検討が必要
- ④言葉の問題もあり、外国人との連携・交流が難しい

安全・安心 × お宮町の将来像

◆ 相互の思いやりを通じて安全・安心な町をつくる

- ・車やバイク、自転車、歩行者それぞれがルールを正しく知り、守ることでお宮町の安全安心を確保する。

◆ 安心して通行できるような歩道・車道の確保

- ・歩道の電柱や大きな木の根の隆起、走りにくい自転車専用通行帯など、お宮町エリアの危険箇所を改善し、通行する人たちの安全が確保できるような歩道・自転車道・車道をつくる。
- ・危険な交差点や車道にはミラーやグリーンベルトなどの対策を行う。

将来像を実現するために取り組みたいこと

- お宮町の全体的な「交通・防犯・防災マップ」の作成
 - ・東六地区・北六地区それぞれで作成されたマップを一本化し、地域全体で共有する。
- 不審者などの情報を共有し、子どもから大人までが安心して生活できるように、地域の連携を強化
 - ・交通安全協会の復活：現在休止している交通安全協会を地域の力で復活し、皆で協力して活動をする。
 - ・交通ルールの徹底：ルールブック（多言語を含む）の配布や交通安全教室の実施、交通ルールの広報のためのキャンペーンの実施
- 歩道・車道の整備の提案
 - ・自転車が逆走しないように、標識や横断自転車道などの整備
 - ・電柱の除去や樹木の伐採による歩道、自転車道、車道の整備

テーマ②歴史・伝統

「お宮町」の魅力・強み

- ①歴史・文化が感じられる
 - ・昔ながらの雰囲気・レトロ感があり、古さと新しさが混在している
 - ・仙台唯一の武家屋敷（安藤家）が残る
- ②身近に東照宮がある
 - ・御宮町＝門前町として発展した町
 - ・ヒーリングスポットでもある
 - ・東照宮は緑も豊か
- ③東照宮からの景色、東六番丁小学校のエドヒガンザクラ、梅田川が自慢
- ④仙台駅に近い。学校も多い

「お宮町」の課題・弱み

- ①町並みが門前町風ではなくなった
- ②電柱があることによる、景観への弊害を感じる
- ③地元の名跡等の由来や歴史を知らない住民が増えた
- ④一方通行や行き止まりが多く、街の個性が分かりにくい
- ⑤宮町通を車で通り過ぎるだけの住民が増えた（歩く人が減った？）

歴史・伝統 × お宮町の将来像

◆ もっと歴史が感じられる地域、歩いて楽しい地域に

- ・地元の名跡を訪ね歩く「探訪会」の実施、新たな探訪コースの開発
- ・お宮町の昔の写真・思い出話・行事の蒐集

◆ もっと「緑」が感じられる地域に

- ・東照宮根柢道の市民の手による清掃（ホテルも横断する水の流れのお堀へ）
- ・東照宮裏手の堀や馬場跡を整備し、新たな散策コースとして PR

将来像を実現するために取り組みたいこと

- 「お宮町」の歴史を知り、未来に伝える活動（歴史ボランティアの養成）
 - ・時間（年表）と空間（地図）からみた「お宮町」の歴史を紹介したい。
 - ・大人向け：探訪会の実施
 - ・子ども向け：クイズ形式（お宮町検定など）
- ボケモン GO ならぬ「お宮町 GO」（地図片手にオリエンタリング）
 - ・若者らによる SNS を使ったお宮町の紹介
 - ・地元の小・中・高・大学生などと一緒に、お宮町に関する証言の蒐集活動
 - ・冊子「お宮町」の読書会の実施
- 「お宮町」の景観整備、仙台東照宮の緑地を P R
 - ・宮町通りの無電柱化、通りに面した建物の色調の統一、「お宮町」のシンボルとなる鳥居や灯籠などの設置（東六小の前、宮町中心など）
 - ・季節ごとの催し、新たな散策コースの整備、四ツ谷用水の勉強会

テーマ③交流・賑わい

「お宮町」の魅力・強み

- ①地域のまとまりを感じる
- ②子育てしやすい
- ・地域の人たちが行事に協力的
- ③地域の行事が好き
 - ・東照宮や季節の行事
- ④宮町商店街が自慢
- ・チャレンジできる商店街

「お宮町」の課題・弱み

- ①地域活動に若者が出てこない（後継者不足）
- ②外国人とのコミュニケーションの取り方が分からない
- ③商店街がもっと身近になると良い
- ④中心部に近いが、新しさが無い

交流・賑わい × お宮町の将来像

◆ 若者が住みたくする地域に

子育てしやすい環境と、チャレンジできる宮町商店街という強みを活かし、商店街と地域に住む若者が交わる環境を作る。その環境が新たな交流を生み出し、活動を地域に落とし込むことで賑わいを創出し、未来に歴史を受け継ぐ『後継者』を作り続ける。

◆ 次世代の発想で新しい宮町をつくる

将来も賑わう町になり続ける為に、若者が住みたくする魅力を持てる地域に落とし込みたい。景観を崩さず、宮町・東照宮に既にある強みを若者向けの文化（サブカルチャー・SNS など）の視点から提案頂き、景観や行事を地域と若者で考えて賑わいを作る。

将来像を実現するために取り組みたいこと

- 子ども・大人・外国人の交流を増やす活動
 - 『地域の子どもの成長』をテーマに、夢や目標を持って社会に挑戦する自立した子どもに育てられるような活動を地域が応援する。
 - ・宮町の歩行者天国の実現
 - ・地域を盛り上げるすずめ踊りの団体の設立
 - ・外国文化の交流会・宮町の文化と歴史が知れる体験型のイベント
 - ・子供が主体となる職業体験イベント（仮想通貨を利用した売り買いなど）
- 元ある行事を地域で見直し、更に大きな賑わいをつくる
 - 七夕や祭などの四季の行事を、若者や外国人の視点から考えて頂き、発想を広げてみる。『宮町らしさ』を軸に、1つのイベントを地域全体で作る上げることができれば、四季を共有しながら関わった人たちが集まるイベントになり、大きな賑わいをつくることに繋がる。

皆さんの発意で、分科会が設立。各分科会が活動をスタート

骨子の内容をベースに
分科会活動をスタート



分科会活動を通じて
骨子のアップデートを狙った

安全・安心分科会



例えば
お宮町エリアの
安全・安心マップづくり

歴史・伝統分科会



例えば
仙台東照宮のお堀に
清流を再生する活動

交流・賑わい分科会



例えば
国際交流を兼ねた
街の清掃プロジェクト

②歴史・伝統

仙台東照宮の緑地のPR

- ・仙台東照宮の根添堀に清流を取り戻す活動を継続します。

「お宮町」らしい景観整備

- ・歴史的な風情が感じられる景観にすることを提案します。





2023年度 まちづくり計画の策定支援

月1回 コア会議を実施。
どんな将来像や取り組みを掲げるか
一緒に検討を行った。

分科会の現場の活動と
計画づくりの二本立てが
地域にとって負担に…

目次構成からテキストの提案、
編集、デザイン、レイアウトなど
実作業も引き受けた

骨子を踏まえて、目次構成の検討・提案（当時のコア会議資料より）

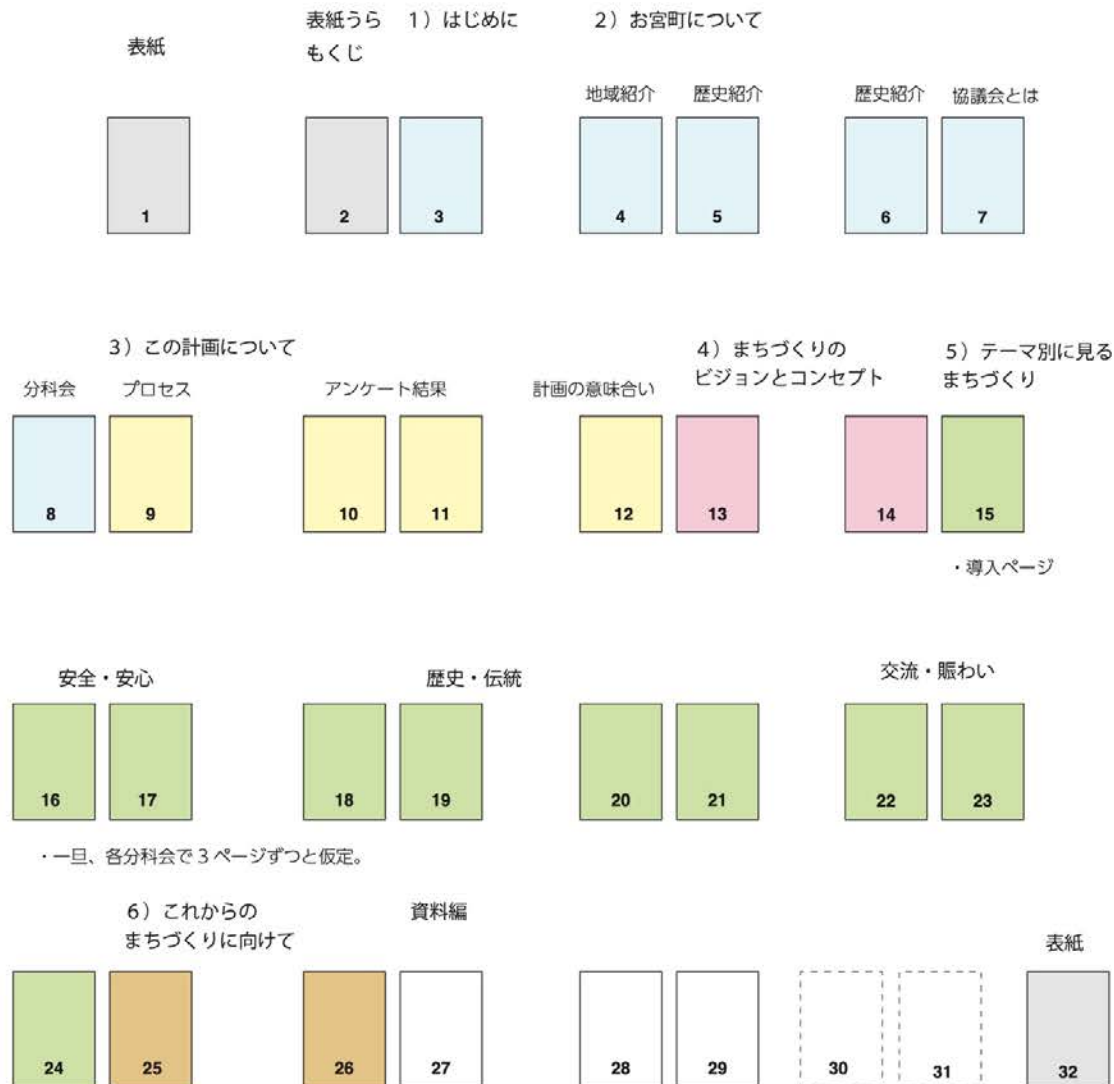
お宮町まちづくり計画の構成メモ

- 1) はじめに
 - ・ごあいさつ
- 2) 「お宮町」について
 - ・地域紹介
 - ・「お宮町」エリアの歴史
 - ・「お宮町」まちづくり協議会とは
 - ・活動のエンジン 3つの分科会
- 3) この計画について
 - ・制作プロセス（これまでの活動紹介）
 - ・アンケート調査の結果
 - ・この計画の意義合い・位置付け
- 4) まちづくりのビジョンとコンセプト
 - ・将来こんなお宮町にしていこう など **検討必要**
- 5) テーマ別にみるまちづくり
 - ・各テーマで、こんな課題／魅力を認識しています
 - ・活動のアイディア
 - ・実際にこれまでしてきた活動の紹介
 - ・何をいつまでに実現したいか など
- 6) これからのまちづくりに向けて
 - ・まちづくり協議会の今後の役割
 - ・実現していくために必要なものの整理

資料編

たたき台として

230831



編集、デザイン、レイアウトの例

② アンケート結果

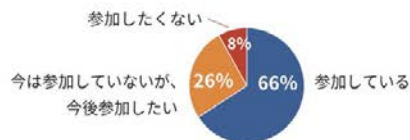
大人アンケート

2023年10～12月、お宮町秋まつりのブースや連合町内会、各学校を通じて広報を行い、ウェブで回答を集めました。215名から回答をもらいました。

まちづくり協議会をご存知でしたか？

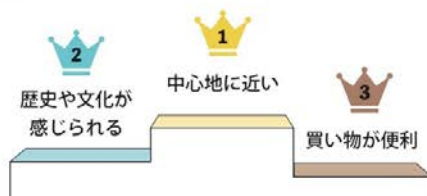


町内会をはじめ、地域の活動に参加していますか？



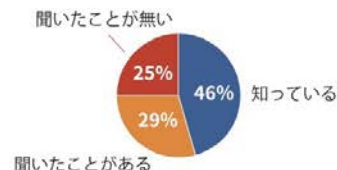
- ▶ まちづくり協議会の活動内容はなかなか知られておらず、もっと地域の人たちと一緒にまちづくりを進めることが大事だと感じています。

この地域のいいところ TOP3



無電柱化*のこのことを知っていますか？

* 通りにある電柱を地中もしくは移設して電柱を無くすこと



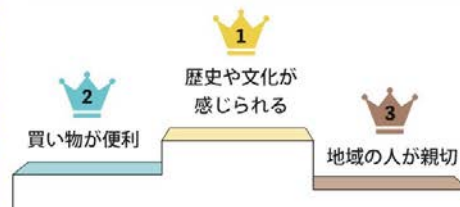
これからの地域の安全・安心のために必要だと思う活動 TOP5

- 1 お宮町に住む外国人向けの生活情報発信（多言語に対応したゴミ出しや交通ルールブックの配布）
- 2 電柱の地下化（無電柱化）による、歩道・自転車道・車道の整備の提案
- 3 交通ルールの啓発活動
- 4 宮町通りなどに防犯カメラの設置
- 5 不審者などの情報の共有

地域の歴史や伝統を将来に伝えるために必要だと思う活動 TOP5

- 1 歴史伝統の名跡を訪ね歩く「お宮町探訪」の継続実施
- 2 歴史伝統を題材にした子ども向けのイベント
- 3 SNSを使ったお宮町の紹介
- 4 景観整備（宮町通沿いの無電柱化、建物の色調の統一など）
- 5 新たな散策コースの整備

この地域のいいところ TOP3

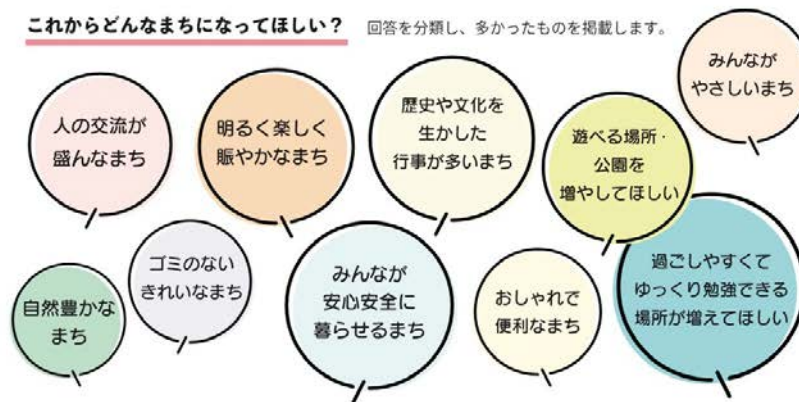


子どもアンケート

子どもたちには①この地域のいいところ
②これから、どんなまちになってほしい？
を考えてもらい、505名の声が集まりました。

調査にあたっては
東六番丁小学校、北六番丁小学校、
宮城教育大学附属小学校、五城中学校に
ご協力いただきました。

これからどんなまちになってほしい？ 回答を分類し、多かったものを掲載します。



地域の交流や賑わいをつくるために必要だと思う活動 TOP5

- 1 宮町の文化と歴史を知れる体験型イベント
- 2 子ども向けの職業体験イベント
- 3 交流を兼ねた地域のクリーン運動
- 4 既存の地域行事に若者や外国人の視点を入れて開催する
- 5 「お宮町」に住む外国人との文化交流会

この地域で気になること・改善してほしいこと

- ・交通ルールが守られてなくて危ない
 - ・ゴミの散乱（カラス被害）
 - ・外国人が増えたことが気になる
 - ・地域の核になる施設が欲しい
 - ・お休み処のような場所があるといい
- などの回答が印象的でした。

例えば地域の交流不足を解消できれば、暮らしの不安の解消にもつながりそうです。

■ 進行中の活動

まち歩きガイドの育成を狙った 「まち歩きプロジェクト」

講師を招いての
座学やワークショップ
宮町のフィールドワークを
連続開催中



子どもの安心・安全のための 「子まもりプロジェクト」

荒町の取り組みを参考に
商店街や地域の団体が連携し
子どもたちを見守ろうというもの。

まずは10/23 子まもりハロウィンを企画

